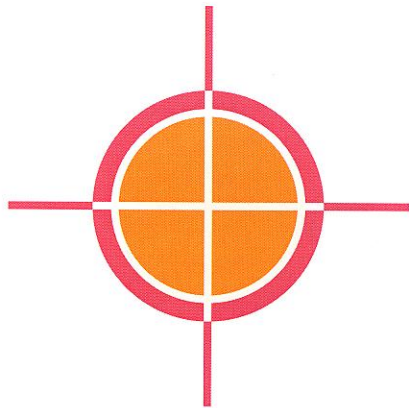


政策フォーラム2002

21世紀日本の未来構想図



2002/12/7(土)・12/8(日)

会場：慶應義塾大学 三田キャンパス

開会式：7日10時～ 西校舎ホール

主催：ISFJ 日本政策学生会議

<http://www.isfj.net>

政策フォーラム2002

現状の日本は様々な政策課題に直面しています。一つの政策課題であっても他の問題と複雑に関係しており、従来の縦割り・定型的な課題解決方法が通用しにくくなっています。そのため政府・企業・大学・研究所のコラボレーションにより、一つの政策課題に対して多面的アプローチ型の問題解決が必要とされています。

しかし、知的リソースの宝庫ともいえる大学の政策研究の実状として、学生はゼミ内での研究にとどまり外部への発表や意見交換の機会が極めて少なく、政策立案の現場と接点がほとんどないと言えます。

そこで、政策研究を行っている学生どうし、また学生と実際の政策担当者が意見交換を行う場の提供がまさに必須であり、問題解決のための学問横断的な意見交換の場が求められています。

ISFJが今回開催いたします「政策フォーラム2002」はゼミでの研究活動の成果を政策提言としてアウトプットする場、およびコラボレーションを可能とする、問題解決のバックグラウンドとしての役割を果たします。

政策フォーラム2002の特徴

本年度の「政策フォーラム2002」では、7つの分科会を設け、ISFJとしてさらに幅広い分野をカバーしていくとともに、分科会ごとにきめ細かい研究・議論を行い、政策提言の質の向上を追求していきたいと考えます。

金融分科会／財政分科会／企業・産業分科会／社会保障分科会／外交・安全保障分科会／都市・交通分科会／環境分科会

また、本年度も政策パネルディスカッションや、分科会ごとにパネルディスカッションと学生ディスカッションを設けました。こうした場を参加者同士の意見交換につなげ、日本の新たな未来への第一歩を踏み出す事が出来れば幸いです。

政策パネルディスカッション

7日の開会式後、10時半から西校舎ホールにて開催致します。

昨年は司会に島田晴雄 慶應義塾大学教授、ゲストに鳩山由紀夫 民主党党首をお招きするなど、例年著名な先生方によるパネルディスカッションを開催しております。

今年もどうぞご期待下さい。

分科会パネルディスカッション 10月17日 現在

金融分科会	「金融業の展開と日本経済」	塩澤修平	慶應義塾大学教授	ほか
財政分科会	「持続的な財政の実現へ向けて」	藤野次雄	横浜市立大学教授	ほか
企業・産業分科会	「規制改革と企業経営革新」	佐藤公久	日本大学教授	ほか
社会保障分科会	「雇用安定化のための方策」	跡田直澄	慶應義塾大学教授	ほか
外交・安全保障分科会	「東アジアにおける外交の方向性」	彦谷貴子	防衛大学校講師(予定)	ほか
都市・交通分科会	「特殊法人民営化と今後の社会資本整備のあり方」	戸崎 肇	明治大学助教授・鶴飼康東	関西大学教授 ほか
環境分科会	「市場と環境政策」	横山 彰	中央大学教授	ほか

政策フォーラム2002へ、メッセージを頂きました。

竹中平蔵 経済財政・金融担当大臣

今、日本は大きな転換期を迎えています。皆さんが政策担当者なら、日本に対してどのような政策を打ち出しますか？小泉総理にどのような提言をしますか？大学は知的リソースの宝庫です。政策フォーラム2002での議論を通して、21世紀の日本の進路を決める政策が生まれてくるものと期待しています。



島田晴雄 慶應義塾大学教授
内閣府特命顧問

ISFJ 2002年大会の開催に際し、主催者はじめ関係者の皆様の御努力、御協力に感謝申し上げますとともに、心から敬意と祝意を表したいと思います。

多くの情報が容易に入手できる時代になりましたが、皮肉な事に、それらの情報が私達の生活や経済そして国の将来にとって何を意味するかを考え、判断することは、情報がただにむしろ難しくなってきました。そうした中で、学生諸君が多くの先輩や専門家の意

見を聞きながら、皆で真剣に討議し、政策を考えることは、明日の日本のためにきわめて有意義なことと言えます。

今回で6回目の大会を迎えるISFJは、学生諸君の創意・工夫と熱心な献身によつて企画運営されており、今年度も様々な分野において有益な政策提言、行動指針が析出されることを楽しみにしています。

代表挨拶

慶應義塾大学経済学部3年
島田晴雄研究会 佐々木 一真

失われた10年といわれた90年代が過ぎさり、21世紀が幕開けし2年の年月が経ちました。しかし、日本は長引く経済不況や相次ぐ政界と産業界における不祥事に苛まれ、未だ長い低迷を脱しきることができません。

以上のようなフレーズを私達はこれまで幾度となく目にしてきました。その中で私達は少なくとも社会に対する問題意識と、特に学生は時代を担う者として、未来への危機感を徐々に強く感じてきたことと思います。

国内からの批判により形成された閉塞感が行く末を覆い隠すように漂っている中で、私達国民は日本のために何ができるのでしょうか。その答えを見つけ出すことは容易ではないでしょう。しかし、だからと言って憂いているだけでは何も始まりません。

私達 ISFJ は、一国民として、一研究者として自分達の問題意識と危機感を原動力に、一人一人が日本に山積する様々な課題に取り組んでいくこと、そして、その一人一人が集い議論を行って、自分達の想う政策を切磋琢磨し社会に提言すること、この一連の流れがひとつの答えになっていくと信じて活動を続けています。

この流れを起こしていく主役は私達学生だけではないでしょう。政府・企業・大学などの枠を超えて全国民が主役になっていくことが望まれます。みなさんも私達と共に日本の今を、そして未来を議論しませんか。

「政策フォーラム2002」にてみなさんと熱く議論できることを楽しみにしております。

本年度参加ゼミ 10月17日 現在

金融分科会

慶應義塾大学経済学部	塩澤修平研究会
東京大学経済学部	伊藤元重研究会
一橋大学商学部	清水啓典研究会
明治大学商学部	千田亮吉研究会
横浜国立大学経済学部	井伊雅子研究会
早稲田大学政治経済学部	藪下史郎研究会

財政分科会

慶應義塾大学商学部	跡田直澄研究会
慶應義塾大学経済学部	大村達弥研究会
慶應義塾大学総合政策学部	竹中平蔵研究会
東京大学経済学部	井堀利宏研究会
同志社大学経済学部	伊多波良雄研究会
明治大学政治経済学部	MEPS研究会
横浜国立大学経済学部	若杉隆平研究会
横浜市立大学商学部	藤野次雄研究会
早稲田大学商学部	片岡孝夫研究会

企業・産業分科会

青山学院大学経済学部	熊谷彰矩研究会
大阪大学経済学部	山内直人研究会
大阪外国語大学外国語学部	野村茂治研究会
関西大学総合情報学部	鶴飼康東研究会
京都大学経済学部	吉田和男研究会
慶應義塾大学経済学部	中澤敏明研究会
日本大学商学部	佐藤公久研究会
横浜市立大学商学部	藤野次雄研究会

協賛 10月17日現在

株式会社ジョブウェブ
株式会社リクルート
神田印刷株式会社

後援 10月17日現在

独立行政法人 経済産業研究所
政策分析ネットワーク
財団法人 松下政経塾

会場へのアクセス

- 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
- JR山手線・京浜東北線 田町駅下車(徒歩8分)
- 都営地下鉄浅草線・都営地下鉄三田線 三田駅下車(徒歩7分)
- 都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅下車(徒歩8分)

社会保障分科会

大阪大学経済学部	本間正明研究会
大阪大学経済学部	山内直人研究会
関西大学経済学部	林宏昭研究会
慶應義塾大学商学部	跡田直澄研究会
慶應義塾大学経済学部	島田晴雄研究会
中央大学総合政策学部	横山彰研究会
同志社大学経済学部	八木匡研究会
横浜市立大学商学部	藤野次雄研究会

都市・交通分科会

慶應義塾大学経済学部	池田幸弘研究会
慶應義塾大学総合政策学部	竹中平蔵研究会
東京大学経済学部	金本良嗣研究会
東京商船大学商船学部	苦瀬博仁研究室
同志社大学経済学部	八木匡研究会
日本大学理工学部	岸井隆幸研究室
一橋大学商学部	根本敏則研究会
明治大学商学部	戸崎肇研究会
明治大学政治経済学部	市川宏雄研究会

外交・安全保障分科会

慶應義塾大学総合政策学部	小島朋之研究会
慶應義塾大学経済学部	塩澤修平研究会
神戸大学国際文化学部	石原享一研究会
中央大学総合政策学部	横山彰研究会
防衛大学校人文社会学群	立山良治研究会

環境分科会

宇都宮大学国際学部	中村裕司研究会
中央大学総合政策学部	田中努研究会
早稲田大学政治経済学部	吉野孝研究会

